

- 問1 源氏が平氏を滅ぼした最後の決戦が行われた場所はどこ？
- 問2 日蓮が人々の救いとなるとして唱えることを推奨した「南無妙法蓮華經」という言葉を何という？
- 問3 北条時宗が執権として防戦にあたった、大陸から攻めてきた軍勢を何という？
- 問4 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の命令を無視して年貢を奪い、実力行使によって抵抗した集団を何という？
- 問5 東大寺南大門に安置されている、力強い表現が特徴の金剛力士像を制作した仏師は誰？
- 問6 13世紀初めに建国され、中央アジアまでを征服して大帝国を築いた人物は誰？
- 問7 13世紀にモンゴル帝国を築き、後に日本へ侵攻を企てた人物は誰？
- 問8 平安時代末期に、ただひたすら念仏を唱える教えを説き、浄土宗を開いた僧は誰？
- 問9 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 問10 鎌倉時代後期に時宗を開き、全国を回りながら布教活動を行った僧は誰？
- 問11 鎌倉時代に、踊り念仏を広めて時宗を開いた僧侶は誰？
- 問12 1185年に全国の荘園や公領へ地頭を置く権限を朝廷に認めさせた、鎌倉幕府の初代将軍は誰？
- 問13 浄土宗の教えが急激に広まったことを警戒した旧仏教勢力との対立により、法然が讃岐へ流された出来事を何という？
- 問14 鎌倉時代に制定された、武士社会の決まりごとや裁判の基準を何という？
- 問15 鎌倉時代に日蓮が唱えた「題目を唱えるだけで救われる」という教えにより、支持を集めた対象となった人々を何という？
- 問16 鎌倉時代に宋から帰国し、臨済宗を日本に伝えた僧は誰？
- 問17 鎌倉時代の武士の間で広く行われていた、親の領地を子や女子などに分けて相続させる仕組みを何という？
- 問18 鎌倉幕府の重要職であり、土地の管理や年貢の徴収、裁判などを行って現地の武士を支配した役職は何という？
- 問19 モンゴル帝国（元）の遠征を受けた際、当時の日本を統治していた幕府を何という？
- 問20 鎌倉幕府において、将軍が御家人の何を守る（安堵する）ことを根拠とした主従関係を「御恩と奉公」という？
- 問21 一遍が踊り念仏を通して信仰を広めた、浄土信仰の中心となる仏を何という？
- 問22 鎌倉時代に広まった仏教の新しい宗派の一つで、ひたすら座る修行を行うことを重視した宗派を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 山口県下関市	1185年、現在の山口県下関市にあたる壇ノ浦で、源義経率いる源氏軍と平氏軍が激突しました。この戦いは海戦で行われ、幼い安徳天皇を連れていた平氏は敗北し、一族の多くが滅亡しました。
問2	答え 題目	日蓮は『法華経』の功德を信じ、その題目である「南無妙法蓮華経」と唱えることこそが、最も確実な救済の手段であると説きました。これを「唱題（しょうだい）」と呼びます。
問3	答え 元軍	執権である北条時宗は、この要求を拒否しました。その結果、元は二度にわたって日本へ大軍を送り込みました（文永・弘安の役）。時宗は御家人を指揮し、激しい防戦を行いました。元軍の高度な戦術や火器に苦戦しましたが、最終的に元軍は撤退しました。
問4	答え 悪党	悪党は、荘園領主や幕府の統制を無視して、力づくで年貢の徴収を妨害したり、所領をめぐる紛争を起こしたりした武装集団です。武士だけでなく、土豪や農民が含まれることもありました。
問5	答え 運慶	運慶は、それまでの仏像と異なり、筋肉の動きや表情の細部までリアルに表現する彫刻手法を確立しました。快慶らとともに制作した東大寺南大門の金剛力士像は、その写実的な表現の頂点といえます。この様式は、当時の人々に強い精神的なインパクトを与えました。
問6	答え チンギス・ハン	1206年にモンゴルの首長たちによってハン（指導者）に選ばれたチンギス・ハンは、騎馬軍団を率いて中央アジアへ進出しました。高度な戦術と迅速な移動力を駆使して広大な領土を征服し、モンゴル帝国の礎を築きました。
問7	答え フビライ	第5代皇帝フビライ・ハーンは国号を「元」と改め、大都（現在の北京）を拠点に東アジアの覇権を握ろうとしました。彼は日本に対しても外交使節を派遣して服属を求めましたが、幕府がこれを拒否したため、1274年の文永の役と1281年の弘安の役という2度の遠征軍を日本に送りしました。
問8	答え 法然	法然は、ただ念仏をとなえることで阿弥陀仏の救いを得られるという「専修念仏」の教えを掲げ、日本初の念仏専用の宗派である浄土宗を開きました。身分や学問の有無を問わず救われる教えは、人々に大きな希望を与えました。
問9	答え 鎌倉文化	鎌倉文化は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。彫刻では写実的で力強い表現が、文学では『平家物語』のような軍記物語が人々に親しまれました。また、禅宗の影響を受けて、簡素で力強い美意識が確立されたのも大きな特徴です。
問10	答え 一遍	一遍は「時宗」を開き、踊り念仏を行いながら全国各地を巡りました。彼は特定の寺院に留まらず、諸国を旅しながら念仏の札を配ることで、階層を問わず多くの民衆に浄土への信仰を説きました。
問11	答え 一遍	一遍は全国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行うことで、阿弥陀仏の教えを広めました。彼が始めた宗派は時宗と呼ばれ、身分に関係なく多くの民衆から支持を集めました。
問12	答え 源頼朝	源頼朝は、朝廷との交渉を通じて全国に守護と地頭を置くことを認めさせました。守護は軍事・警察を、地頭は土地管理と徴税を担い、武士が社会の主役となる画期的な体制を確立しました。これが後の鎌倉幕府の実質的な支配システムとなります。
問13	答え 承元の法難	1207年、法然の門弟が起こしたトラブルをきっかけに、旧仏教勢力は朝廷に働きかけました。その結果、法然は承元の法難によって讃岐（現在の香川県）へ流罪となり、多くの弟子も処分されました。これは、新しい教えと古い既得権益側の間の対立が深刻化した事件でした。
問14	答え 武士社会の慣習	それまで武士の間で行われてきた「武士社会の慣習」を基に、裁判の基準が文章化されました。それ以前の京都の朝廷が用いていた律令は、貴族社会には適していても、土地に執着する武士の日常的な紛争を解決するには複雑すぎました。そのため、公平で分かりやすいルールが求められたのです。
問15	答え 民衆	日蓮の教えは、難しい書物を読まなくても「南無妙法蓮華経」と唱えるだけで良いというものでした。この分かりやすさと、社会の悪を鋭く批判する日蓮の態度は、日々の生活に苦しむ民衆に強く支持されました。この支持によって、鎌倉新仏教は急速に広まりました。
問16	答え 栄西	鎌倉時代は、激動の世の中で武士を中心に新しい仏教が求められていた時代です。宋に渡り修行した栄西は、帰国後に禅宗の一つである臨済宗を伝えました。彼はまた、宋から茶の種を持ち帰ったことで知られ、日本における喫茶の習慣を広めるきっかけを作った人物としても有名です。その後、禅の教えは武士の気風と合致し、鎌倉を中心に広く浸透していきました。
問17	答え 分割相続	親が持つ領地を、男子だけでなく女子にも分けて相続させるのが一般的なルールでした。当時は女性も地頭として土地を管理する権利を持っており、家族が協力して家を支える社会構造が一般的でした。
問18	答え 地頭	地頭は、荘園や公領に置かれ、年貢を徴収したり、警察の役割を果たしたりして、現地で土地支配を強めました。承久の乱後、幕府は朝廷側の領地を没収し、多くの地頭を任命して西日本への支配を決定的なものにしました。
問19	答え 鎌倉幕府	鎌倉幕府は「御恩と奉公」という主従関係を基盤に、地頭や守護を配置して日本全国の武士を統制しました。13世紀後半に元からの脅威にさらされた際、執権の北条時宗のもとで二度にわたる侵攻（元寇）を撃退しました。
問20	答え 土地	将軍は御家人の領地（本領）を「安堵（保証）」し、時には新しい領地（新恩給与）を与える「御恩」を与えました。一方、御家人は戦いの際に軍役に従事したり、幕府の警備をするなどの「奉公」を行いました。
問21	答え 阿弥陀仏	阿弥陀仏は、無限の寿命を持ち、すべての生き物を救う仏と信じられていました。鎌倉時代には、念仏を唱えるだけで救われるという考えが民衆に受け入れられ、一遍のような僧侶たちが熱心に信仰を普及させました。
問22	答え 曹洞宗	曹洞宗は、宋から帰国した道元が日本に伝えた宗派です。特定の経典や修行にとらわれず、ただひたすらに座禅を組む「只管打坐（しかんたざ）」を修行の中心に置きました。この教えは、地方の武士や農民にも広く浸透していきました。